

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
【発行日】平成 21 年 5 月 21 日 (2009.5.21)

【公開番号】特開 2007-278631 (P2007-278631A)  
【公開日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)  
【年通号数】公開・登録公報 2007-041  
【出願番号】特願 2006-107254 (P2006-107254)  
【国際特許分類】

**F 4 2 B 33/00 (2006.01)**

【F I】  
F 4 2 B 33/00

【手続補正書】  
【提出日】平成 21 年 4 月 2 日 (2009.4.2)  
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

スズとビスマスの合金からなる弾芯が銅よりなる金属被甲で被覆された弾丸を製造する弾丸の製造方法であって、

一端が閉じられて他端が開いた円筒形の銅よりなるジャケットに、円筒状に成形されたスズとビスマスの合金からなるコアが収容された状態とする第 1 工程と、

前記ジャケットに収容された前記コアを前記一端の方向に押圧して前記ジャケットの一端側を第 1 の型に押しつけ、前記弾丸の一端が成形された状態とする第 2 工程と、

成形された前記一端を前記他端の方向に押圧して前記ジャケットの前記他端の側を第 2 の型に押しつけ、前記弾丸の頭部が成形された状態とする第 3 工程と

を少なくとも備えることを特徴とする弾丸の製造方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の弾丸の製造方法において、

前記コアは、円錐台状の形状に形成され、前記第 1 工程は、前記コアの径の小さい側が前記ジャケットの一端の側に配置されて、前記ジャケットに前記コアが収容された状態とする

ことを特徴とする弾丸の製造方法。

【請求項 3】

スズに対するビスマスの組成比が、重量比で 50 ~ 80 % とされているスズとビスマスの合金からなる弾芯と、この弾芯を被覆する銅よりなる金属被甲と備えることを特徴とする弾丸。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】発明の名称  
【補正方法】変更

【補正の内容】  
【発明の名称】弾丸の製造方法および弾丸

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

本発明は、ピストル及びライフルなどに用いられる弾丸の製造方法および弾丸に関する

。